

会場名	サブリーダー（講演者）	
	役職	氏名
大阪国際会議場	ガバナーノミニー	山本 博史
1 2 階 特別会議場	次年度代表幹事	塩谷 眞治
リーダー 役職・氏名	次年度財務委員長	沖中 隆志
パストガバナー 大谷 透	地区学友委員長	溝畑 正信
ガバナーエレクト 片山 勉	地区危機管理副委員長	岩津 陽介
議事録作成者	SAA 土井 孝雄 副SAA 門田 雅輝 井上 雅晴(議事録作成者)	

開会：(15 時 35分)
発表者： 片山 勉
<p>【記録内容】開会挨拶</p> <p>1. 「ロータリー財団100周年記念シンポジウム」の説明。 学友人道奉仕世界賞受賞者 緒方貞子さん 他の紹介。</p> <p>2. 大阪地区ロータリークラブの100年の歴史の資料作成。</p>
発表者： 塩谷 眞治 (15 時 45 分)
<p>【記録内容】各クラブのお願い事項</p> <p>1. ガバナー公式訪問について。</p> <p>2. ガバナー補佐訪問について。</p> <p>3. RI 及び地区への主要送金関係。</p> <p>4. ガバナー月信。</p> <p>5. 地区ホームページ。</p> <p>6. マイロータリー及びIMロータリーデーについて。</p>
発表者： 沖中 隆志 (15 時 50 分)
<p>[内容] 2017-2018年度の会計予算案説明と予算承認決議</p> <p>2017-2018年度予算策定上の前提 : 地区会員数3600名(前年より50名減少)</p> <p>1. 地区運営資金の収支バランスをすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガバナー月信についてはWEB配信を基本としながら、第1号、第7号、最終号と年3回は紙媒体で発行し、片山ガバナーエレクトの方針や地区の状況をより確認し易くなるよう配慮する。 ・地区事務所の人件費について、収入支出共に計上することに変更する。 <p>2. 地区活動資金については2017年度と同等の予算配分を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中之島RCのインターアクトの立上げやロータリー学友会委員会の立上げもあり、活動資金収入の減少分程度のマイナス予算を組む。 <p>3. 片山ガバナーエレクトより地区予算の承認決議が行われ、2017-2018年度予算は承認された。</p>

発表者： 大谷 透 （ 16 時 00 分 ）

【内容】 会長としての心得

当日に配布されたレジメに基づいて説明された。

1. 指導者の資質として大切なことをわきまえていること。
2. クラブの活動を指導し、実施する十分な時間を割くことが出来ること。
3. クラブの定款と細則に関して実地的な知識を有すること。
4. 1 回以上の地区大会と国際大会に出席したことがあること。
5. 会長の任務。

発表者： 岩津 陽介 （ 16 時 30 分 ）

【内容】 危機管理について

青少年の保護が主たる目的。 当日に配布されたレジメに基づいて説明された。

1. 国際ロータリー第 2660 地区の緊急連絡網。
2. 事故・病気等の緊急対応。
3. 自然災害・テロ等の緊急対応。
4. 青少年が加害者になったときの危機管理対応。
5. 虐待とハラスメント申し立てと報告の処理手順。
6. ボランティアの選考と基準。
7. 地区危機管理委員会規定の解説。

発表者： 溝畑 正信 （ 16 時 45 分 ）

【内容】 ロータリー学友について

学友をロータリー参加に導くのが目的。 当日に配布されたレジメに基づいて説明された。

1. ロータリーの学友とは？
2. 数字で見る学友の現状。
3. 第 2660 地区のロータリー学友の現状。
4. 学友の参加を促すことの重要性。
5. 学友参加促進の方法。

発表者： 山本 博史 （ 16 時 55 分 ）

【内容】 ガバナーノミニイ挨拶

各クラブの活性化への取り組みのお願い。

今後のセミナーやロータリーデーへの参加のお願い。